

第1決算審査特別委員会報告

平成27年度大木町一般会計歳入歳出決算を認定

歳入、歳出決算の実質収支額は、1億8,652万円の黒字で、実質収支が良好な結果であったことは、財政の健全経営と評価する。しかし、今後予想される地方交付税の削減傾向からも、計画的な施策の実施と効果的な予算の執行に努められ、今後とも健全な財政運営を堅持されることを期待する。

総務課 前年度と比較し、時間外勤務が増加しており、職員の適正な配置、健康管理に努めるよう要望した。
重要性の低い書類の見直し等業務の改善、簡素化をはかり事務事業の効率化を要望した。また、PC機器関連やソフト等の情報処理費が多額であり、全庁を把握し、原価低減に努力するよう要望した。

企画課 ホームページのリニューアルについて、課ごとの更新に温度差が感じられる。更新チェック日の設定等機能強化に努めるよう要望した。
ひしのみ国際交流事業について、27年度大幅な赤字となっており、今後の方針、実施する事業の精査、収入の確保等を計画的に行うよう要望した。

会計課 不用額について、課ごとに大きな差が見受けられるため、賃金等の事前に判断できるものは補正予算等で減額するなど不用額の縮小に努めるよう要望した。

税務町民課 徴収係は過酷な業務を遂行しており、今後も正義感と責任感を持って、身の危険にさらされない範囲で徴収率アップに努めていただくよう要望した。

建設水道課 水路整備後の残地の処理が遅滞傾向にあり、計画的に進めて行くため、計画書の作成と進捗率の報告を要望した。
また、旧配水場管理棟の払い下げを速やかに進めるため、進捗状況の確認及び適宜進捗状況の報告を要望した。

産業振興課 農業委員会法の改正により、委員は公募制により議会の同意を得て町長が任命するが、女性の委員の複数任命について要望した。
多面的支払交付金について、事業採択以来、役員の交代等で事業の内容、範囲等不明確な点が見受けられるため、再度周知徹底するよう要望した。
また、野菜等産地消モデル事業について、PR不足な点が見受けられるため、今後JA等と連携して、利用拡大を図って行くよう要望した。

平成27年度大木町水道事業特別会計剰余金の処分および決算を認定

27年度の水道事業は、配水管の改修費用が少なかったことや、配水管路耐震化工事に関係職員の人件費を補助対象としたことにより、大幅黒字決算となっているが、平成28年度から配水管路耐震化工事も本格的に開始されるため、更なる財政の健全化・効率化を図るよう指示した。

水道料金の改定は、平成28年6月に実施され、8月から新料金体系で請求されている。おいしい水の安定的な供給は当然のことながら、水道料金については、町民にとって最も日常生活に密接なものであるから、事業経営の効率化、経済性の追求に努められ、低料金で提供出来るよう切に要望した。

出席委員全員一致により、原案の通り可決。



橋梁点検箇所の現場視察



町道八町牟田10号線拡幅工事現場視察